

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

小児心臓カテーテル時のレミゾラム全静脈麻酔の検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2021年1月から2023年3月31日に昭和大学病院で心臓カテーテル検査および治療を受けた小児患者様
2. 研究目的・方法 レミゾラムは既存の全身麻酔薬と比較して、複数の優位性があります。吸入麻酔薬やプロポフォールと比較して、覚醒時に興奮を起こす作用は少なく、プロポフォール注入症候群、血管痛を起こしません。全身麻酔導入・維持の血圧低下を減らすことが予測され、副作用の少なさと循環動態の安定性のあるレミゾラムは小児の全身麻酔の新たな選択肢となることが期待されます。 研究は後方視的に行い、麻酔記録、電子カルテ、脳波モニタの記録を収集して、解析します。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年 3月 31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 全身麻酔時の麻酔記録および術前診察、術後診察の記録を用いて調査いたします。 全身麻酔時の麻酔記録から心電図、血圧、経皮的酸素飽和度、呼気二酸化炭素濃度、脳波、薬物動態モデルを用いた濃度シミュレーションのデータ、電子カルテから術前検査データ、術前診察記録、術後診察記録を収集します。
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません
6. 研究組織 研究責任者 昭和大学医学部麻酔科学講座 大江 克憲

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部麻酔科学講座 氏名：細川 麻衣子
住所：東京都品川区旗の台 1 - 5 8 電話番号：03-3784-8575